

Spire_M

小学校版



P.2 **うたの潮流 最終回**

北原白秋 創作の足跡

唱歌・童謡研究家 竹村 忠孝

P.8 **手作り打楽器**

打楽器奏者 小田もゆる

P.10 **長唄の世界 1**

長唄佐門会 三代目 杵屋佐喜

P.12 **MUSIC JAM 通信 2**

MUSIC JAM KIDS 4





うたの潮流

作家の足跡と
ともに辿る
日本のうた

最終回 北原白秋 [1885-1942]

童謡が生まれて、今年で100年が経ちます。その原点ともいえる童謡詩人北原白秋にスポットをあて、大正7年3月4日から大正15年5月1日までの約8年間を暮らした小田原の地を巡り、白秋童謡、創作の足跡をご紹介します。

白秋は「この場所でこの詩を創作した」という詳細な記録が残っている詩人の一人です。残した日記や記録を頼りに、それぞれの作品が生まれた場所を訪ねてみたいと思います。

日本大学・法政大学講師
唱歌・童謡研究者

竹村 忠孝

訪ねる順路は、まず日本で最初に童謡が生まれた「お花畑」、そして「白秋童謡館」「花園幼稚園」「御幸の浜」早川の「荒久」の海、みみづく寺「伝肇寺」「伊勢谷理容館」、そして最後に「からたちの花」の小径を巡ります。



作図：秋葉 凱

① <お花畑>

白秋は、大正7年の3月4日にこの近くの養生館に引越してきます。そして、その一ヶ月後の4月にこの「お花畑」に住むようになります。

大正7年の7月には、雑誌「赤い鳥」が創刊されます。創刊者は、主宰、鈴木三重吉。白秋は雑誌の書名を「赤い鳥」にしようか、「こま鳥」にしようか迷いましたが、二人で相談し最終的に「赤い鳥」になります。その創刊号の最初のページに掲載されたのが「りすりす小栗鼠」で、「りすりす小栗鼠」が日本最初の童謡と呼ばれる由縁です。白秋がこのお花畑にいるときに書いた童謡です。

大正7年の春は長雨が多く、妻も肋膜炎を患いずっと家の中にいましたので、白秋は、一人で荒久の海や早川のほとりを散歩していました。「雨やんでほしいな。」という思いから童謡「雨」が創作されます。

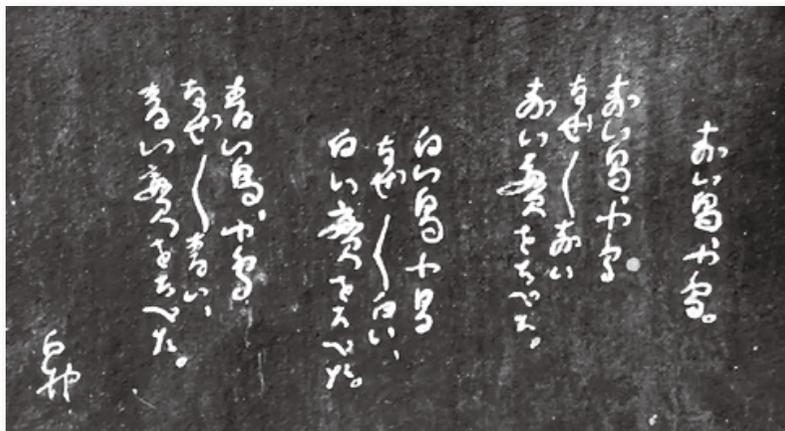


「おはなばた」の指標

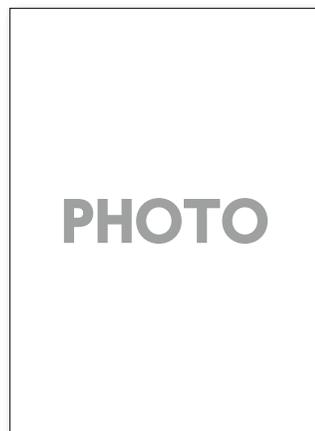
② <白秋童謡館>

童謡館には白秋の資料があります。近くのお花畑に住んだ白秋は、丘に行って枝と枝に絡んでいる赤い実をつついている小鳥を眺めて、そこから童謡「赤い鳥小鳥」が生まれました。その詩碑が童謡館の庭にあります。

お花畑に住んでいた白秋は兔を飼います。その兔が隣の庭の畑を荒らして苦情がきても可愛がりましたが、ある日逃げてしまい探しまわります。そこで兔をテーマにした童謡「兔の電報」が生まれます。



白秋童謡館の庭にある「赤い鳥小鳥」詩碑



白秋が描いた兔

③ <花園幼稚園>

花園幼稚園は、白秋の長男隆太郎が通った園です。1916年（大正5年）に開園をしています。

まだ子宝に恵まれていない頃、雨の中、蛇の目傘に入るお母さんと子どもを大変微笑ましく眺めながら、「自分もお迎えに行きたいな」と思っていました。そして大正11年の3月に、長男隆太郎が産まれます。白秋は、幼稚園に自分の子どもが通うのを楽しみにしていました。そして大正15年4月に、この花園幼稚園に入園を果たします。白秋は大変喜んで、板橋の木地屋で木の箱を作りそこに車をつけました。その箱の中にいつも隆太郎を乗せて送り迎えをします。雨の日には、蛇の目傘でお迎えをしたり、送ったりしました。そうして「アメフリ」が生まれました。



小田原聖十字教会
花園幼稚園はこの教会の敷地内に建てられている。



「アメフリ」の2番に詠われている鐘

2番に書かれている「園が終わると鐘が鳴る」という意味の「ゆこゆこ鐘がなる」の鐘は、当時のまま今も園内に残っています。大正14年、隆太郎さんが幼稚園に入る前の作品です。この幼稚園には、他に、谷崎潤一郎の娘鮎子も通っていました。白秋さんは、幼稚園を見て大変嬉しく、そしてまた、童謡をどんどんつくっていきます。その童謡の生まれた、この花園幼稚園周辺というのは、白秋の童謡をつくるその散歩道にもなっています。

④ <御幸の浜>

近くに養生館がありました。白秋は佐藤菊子という女性と交際を始めます。よくこの浜でデートをします。千鳥がたくさん鳴いておりました。白秋は、菊子と離れると大変寂しい思いになり毎日のように手紙を書きます。そして再会すると、またこの浜を歩きました。

菊子と離れた夜、寂しさから童謡を書きます。そのような心情から生まれたのが、童謡「ちんちん千鳥」です。



御幸の浜近くにあった養生館

⑤ <荒久>

白秋は、近くの早川や、この荒久の海岸をよく散歩しました。大正11年6月に、新潟の子どもの童謡の講演会に出かけます。白秋が子どもたちの前で楽しいパフォーマンスをするので、子どもたちはやんやの喝采をします。上機嫌の白秋は、「君たちの童謡をつくってくるよ。」と約束をします。小田原へ戻り、新潟の海と重ね合わせたこの荒久の海で童謡「砂山」が生まれます。白秋は、荒久の海を見ながら、新潟の海、そして新潟の子どもの笑顔の思い出したことでしょう。



白秋がよく散歩した荒久海岸

PHOTO

白秋が描いた雀「砂山」にも「雀啼け啼け」の一節が。

⑥ <伝肇寺>

大正7年10月にお花畑から伝肇寺の境内の一室に移り、大正8年5月には伝肇寺敷地内「みみづく幼稚園」の辺りに「みみづくの家」を建てます。

大正10年6月、妻の菊子が身ごもりました。白秋にとって36歳にして初めての子どもです。いい子が生まれますようにと嬉しさのあまりに創作した童謡が「揺籠のうた」です。そして翌11年3月、長男隆太郎が産まれます。

敷地内のかやの木は当時からの木で、秋になるとかやの実が落ちます。落ちたかやの実を、囲炉裏で焼いて食べた白秋。そのようにして童謡「かやの木山の」がつくられたのです。かやの木の下には、白秋が名付けた「かやの木地蔵尊」があり、倉の中には、かやの木地蔵が納められています。

大正13年には南満州教育会からの依頼で、「ベチカ」「まちぼうけ」が創作されます。大正12年9月1日の関東大震災で家が半壊しましたが、外は吹雪いているけれど「妻と子がいて、中はあったかいなあ」という思いから、童謡「ベチカ」が生まれました。「待ちぼうけ」は、中国の韓非子の民話を童謡にしたものです。



白秋と家族（関東大震災で半壊した家の前で）

伝肇寺、通称みみづく寺には、白秋童謡館と同じ、童謡「赤い鳥小鳥」の詩碑があります。童謡「赤い鳥小鳥」は同じ敷地内にあるみみづく幼稚園の園歌になっています。

⑦ <伊勢谷理容館>

大正時代、伊勢谷理容館の主人は音松という、白秋と大変親しかった方です。

白秋は、お花畑に住んでいる時に、二匹の兎を大変かわいがっておりましたが逃げてしまいました。そして、お花畑の沢とか沼には蟹がたくさんおりました。

当時の落語を白秋さんが聞いた時に、床屋に行った方が耳をちょん切られて、隣は葬儀屋だと、というような落語を聞いています。そういうようなことが合わさって、この童謡「あわて床屋」が生まれました。

大正12年の震災で建物は半壊しましたが、白秋さんが見たであろう鏡がまだ残っております。



白秋が通った伊勢谷理容館

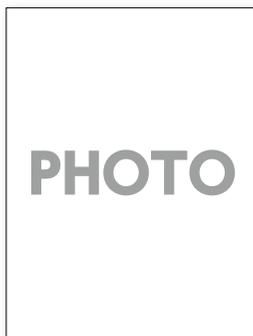
⑧ <「からたちの花」の小径>

童謡「からたちの花」が創作された道ですので、今は「からたちの花の小径」と呼ばれています。

少し登りますと小田原の海が見えます。そして箱根も見えます。それでは、「からたちの花の小径」「水之尾への道」歩いていきましょう。

大正13年5月13日に、妻の菊子と息子の隆太郎（2歳）がこの道を歩きまして、からたちの木の花を見ます。写真の木は、大正時代からあった木で、今ではこの1本しか現存していません。

白秋は息子に、「隆太郎、隆太郎、からたちの花が咲いたよ。秋になると丸い丸い金の玉になるんだよ。」のように投げかけました。それを膨らませて、童謡「からたちの花」が生まれます。この水之尾への道は白秋のいつもの散歩コースです。



白秋が描いたからたちの実



当時のまま現存するからたちの木

白秋は、この水之尾への道が大好きでした。段々畑のあるこの景色を、「野外劇場の観客席のようだ」と日記に書いています。

下にちょっと降りますと、荻窪という場所があります。その道沿いに、すかんぼがたくさん群生していました。そこで童謡「すかんぼの咲くころ」が創作されます。

相模湾の海が見えますし、もう少し行きますと早川、荒久の海も見えます。この一帯は「字（あざ）ぐみの木」、グミの木がたくさんありました。

大正14年8月に、白秋は樺太（北海道）の旅に出ます。そしてこの水之尾への道で、「この道は実にいい道だ」と言っています。そして童謡「この道」がここで創作されます。



「この道」が創作された小径

「北原白秋 創作の地を訪ねて」いかがだったでしょうか。

実際に創作した場所を訪れて、白秋さんの思いやエピソード、意図を知ることによって、より作品への理解が深まって、表現に生かされるのではないのでしょうか。

<取材協力>

伊勢谷理容館／小田原市／小田原市立かもめ図書館／小田原市立図書館／小田原文学館・白秋童謡館／学校法人 聖公会聖十字学園 花園幼稚園／学校法人 伝肇寺学園 みみづく幼稚園／樹高山 西照院 宗教法人 伝肇寺（みみづく寺）

<資料提供>

五十嵐写真館／神奈川県朝日会小田原支部（朝日新聞）／キャンパスおだわら／「心の故郷」童謡新聞／箱根文芸の森 山田耕筰文庫／明治学院大学 図書館附属「日本近代音楽館」

<番組の紹介>

掲載記事と連動した番組（YouTube）をお楽しみください。

北原白秋 創作の地を訪ねて

URL

https://youtu.be/KoPx-b_zdRA



このQRコード
からも番組に
アクセスいただけます。



長唄の世界 1

長唄^{きもん}佐門会 三代目 杵屋^{さねや} 佐喜^{さき}さん

皆さま初めまして、長唄演奏家の杵屋佐喜と申します。普段は長唄の唄方として演奏会、歌舞伎公演、日本舞踏会、NHK などに出演し、唄を唄う仕事をしています。父方は代々長唄の家系ですが、母はジャズピアニストでした。今でも和洋に関わらずクラシックやミュージカルも大好きです。ちなみに大学時代は声楽を専攻しオペラの勉強もしました。好きな歌手はホセ・カレーラス。長唄の演奏家としてはかなり珍しい経歴と思いますが、今日はそんな経験から少し「長唄」という音楽についてお話させていただきたいと思います。



長唄について

皆さまはそもそも「長唄」ってご存知でしょうか？ おそらく小・中学生にこの質問をしても、悲しいことにほとんどが知らないのではないのでしょうか。（これは私たちプロの責任なのです…反省！）そもそも長唄とは「江戸時代に歌舞伎の伴奏音楽として成立した三味線音楽の一つ」なのですが、文章にすると少し難しく感じますね。前述の通り、歌舞伎の後ろでずら〜っと横一列に並んで唄を唄ったり三味線を弾いたりしているのが長唄の演奏家です。ちなみに歌舞伎の伴奏音楽には「清元」「常磐津」「義太夫」など、他にも沢山のジャンルがありますが、これはまたの機会に。

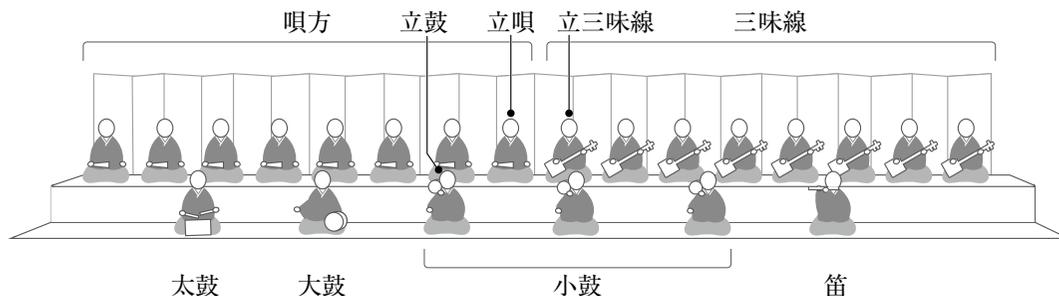
さて、歌舞伎の伴奏音楽として成立した長唄は、長い歴史の中で、例えば「この場面にこんな音楽が欲しい！」とか「今江戸で流行っているあの曲使っちゃおう！」という具合に、お芝居の題材や時代のニーズに合わせて、能、狂言、民謡、小唄、俗曲などなど…日本のあらゆる他ジャンルの音楽要素も吸収しながら発展していきました。今では著作権法に引っかかってしまいそうですが…江戸時代は皆さん寛容だったという事にしておきましょう！（笑）

明治時代にはオペラやバレエと同じように長唄も歌舞伎から独立し、純音楽として様々な作品が生まれ、新しい音域の三味線の開発や、色恋、仇討など大人向けの題材から離れた子ども向けの童謡作品も生まれたりと、誰もが親しめる家庭音楽として全国に普及していきました。礼儀作法を学べる事からも子どもの習い事ランキングでは常に上位となり、ポピュラー音楽として爆発的な人気を集め不動の地位を確立しました。そんな多くの要素を含む長唄は、今では「日本のフルオーケストラ」と呼ばれることもある程で、子どもから大人まで広く親しまれている「三味線音楽の代表格」と覚えていただけたら嬉しいです。

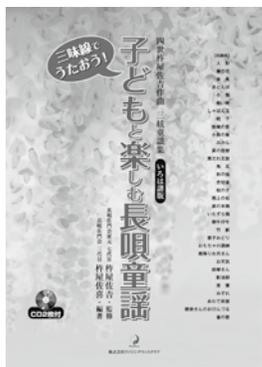
次に長唄がどんな音楽か、ということについて簡単に。長唄は大きく分けて「唄方」と「三味線方」の2パートに分かれます。「長唄」というのは「クラシック」や「ロック」のように音楽ジャンルの名称ですので、三味線を弾く人を「長唄の三味線方」、唄を唄う人を「長唄の唄方」と呼びます。舞台ではこれに小鼓、大鼓、太鼓、笛の四拍子を基本とする「囃子方」も含め「唄方」「三味線方」「囃子方」の3パートが完全分業制で演奏します。プロの演奏家は小さい頃からいろいろなパートを勉強する人がほとんどですが、プロになる際に自ら、または師匠等が適性に合わせて専門パートを選び、それぞれの専門職となっていきます。例えば、長唄の演奏家は舞台では弾き唄いをしない、ということですね。

演奏配置～立三味線はコンサートマスター兼指揮者!?

オーケストラも古典配置や通常配置など多少の違いはあれど基本的には配置が決まっているのと同じで、長唄も舞台下手に唄方、上手に三味線方、その前方に下手から太鼓、大鼓、小鼓、笛と、基本的には配置が決まっています。音響から言えば器楽より歌手が前にいる方がお客様には歌詞の内容も聞こえやすいと思うのですが、何故でしょう…？ 江戸時代からずーっと変わらずこのスタイルなのです。そして各パートの一番舞台中央に近い唄方、三味線方を「立」と呼び「立唄」「立三味線」となり、囃子方では鼓奏者が「立鼓」としてそれぞれパートリーダーの役割を担います。



ちなみに各セカンドパートは「脇^{わき}」と呼び「脇唄」「脇三味線」「脇鼓」となり、人数が増えるにつれて三枚目、四枚目、五枚目…という呼び方となっていきます。三味線は一挺二挺と数えますが、長唄の最小編成は三味線二人に唄一人の「二挺一枚」。そこからは基本的に唄方と三味線方が同人数となり、歌舞伎公演では多い時には「十挺十枚」に囃子を入れて総勢30名近くで演奏します。また時には演奏会で100名を超える人数で一斉に演奏することもあるのですが、合唱と合奏でこれはもう、迫力満点です！ さて、ちょっと専門的なお話が多くなってしまいましたね。それではいよいよ、役割や編成が分かったところで長唄の演奏を始めてみましょう！ 深呼吸して、さあ指揮者の合図を待って…ん？ 指揮者…？ そうなのです。長唄には指揮者がいないのです！ しかも横一列に並んでいるため、演奏を聴いた人は「横も見ないでどうやって大勢で音を揃えているの？」と首を傾げます。実は、長唄の指揮者は、三味線のパートリーダーである「立三味線」が担います。例えるならコンサートマスターをやりながら指揮者もやるような…すごい役割ですよ。この立三味線の「フッヨ！」とか「ハッ！」などの掛け声や息を合図に、時に立唄や立鼓のパートリーダーも演奏のキッカケとなり、曲によって様々な息のキャッチボールを行いながら演奏を進行させていきます。こうなるともうジャズです。今どのパートが演奏の主導権を握っていて、誰がリズムのキッカケを出したのか？ なんて考えながら聴くのもハラハラして面白いですよ！（続く）



杵屋佐喜さんの曾祖父、四世杵屋佐吉さんが大正～昭和にかけて作曲した子ども向けの童謡全33曲をまとめた

『三味線でうたおう！子どもと楽しむ長唄童謡』

(CD2枚付。いろは譜版と文化譜版があります。)

お問い合わせは株式会社ライジングウイステリアまで
(FAX 03-3749-1443 / E-mail: info@r-wisteria.co.jp)

MUSIC JAM 通信②

2018年 教育出版 **新** 曲集 MUSIC JAM KIDS 4

小学生のための合唱曲集「MUSIC JAM KIDS 4 (ミュージック・ジャム・キッズ4)」が本年5月に発売されました。今号の「MUSIC JAM 通信2」では春号に引き続き、合唱曲集と併せて発売された範唱CDのレコーディングの様子をレポートいたします。



「MUSIC JAM KIDS 4」掲載曲ラインナップ

夢のはじまり 作詞 志貴忠弘 作曲 西澤健治
TODAY 作詞・作曲 坂田めぐみ 編曲 森永千代子
虹色タン布林 作詞 トモ子 作曲 水野弥生
夢色シンフォニー 作詞 rino 作曲 赤尾 暁
トゥルー 作詞 森 由里子 作曲 小林啓樹
Thanks My Friends 作詞 森 由里子 作曲 西澤健治

ゆき 作詞 川崎 洋 作曲 瑞慶覧尚子
6月に寄せて 作詞 鈴木須美子 作曲 菅野夏生
冒険者 作詞 金子麻友美 作曲 名田綾子
あしたのボクへ 作詞 マイクスギヤマ 作曲 梅本由紀
僕らの日々 作詞・作曲 池田綾子



ラインナップの中から「夢色シンフォニー」「冒険者」「あしたのボクへ」「僕らの日々」の4曲が2018年2月～3月に、戸谷登貴子指揮、佐倉ジュニア合唱団（ピアノ 名田綾子、今野由香）と、甲田潤 指揮、すみだ少年少女合唱団（ピアノ 野田晶子）の皆さんによってレコーディングされました。

佐倉ジュニア合唱団の皆さん。
録音前の声出し



佐倉ジュニア合唱団指揮者戸谷登貴子さん



ピアノ 名田綾子さん
(ご自身が作曲した「冒険者」の演奏)



すみだ青少年合唱団の皆さん。「僕らの日々」を作詞作曲した池田綾子さん
(前列中央)を囲んで



すみだ青少年合唱団指揮者
甲田 潤さん



ピアノ 野田晶子さん



池田さんは合唱にも参加してくださいました



プレイバックの確認。コントロールルームにて

作曲家からのメッセージ

赤尾 暁さん 「夢色シンフォニー」

子どもたちの無限に広がる夢の世界を、パステル画のように描いてみようと思いました。思い思いの夢を託して、のびのびと歌ってください。

曲は斉唱で始まり、ソプラノとメゾ・ソプラノの追いかけてきっかけに2部に分かれます。3度や6度の響きを感じて、美しいハーモニーを目ざしてください。サビの「高いミ」への跳躍を高らかに、そして開放的に歌い上げると、より魅力的な演奏になるでしょう。

B5判 全11曲
税込み 918円

範唱とカラピアノを
収録したCD
税込み 2,700円



名田綾子さん 「冒険者」

小学生のみなさんに、とにかく明るくハツラツと歌ってもらえる曲を書きたいと思い、金子麻友美さんの「冒険者」という詩に曲をつけました。勇敢で前向きな歌詞に、元気や勇気をたくさんもらえんと思います。

休符を含むフレーズやシンコペーションのリズムが多く登場しますが、慣れてくるとノリに任せてリズムが前にすべりやすいです。ピアノのパートもよく聴いて、ノリ良く、でも急ぎすぎないようにしましょう。

聴かせどころをひとつ挙げるとすると、3番の歌詞「世界をぐるり？」からの、歌とピアノのスリリングなかけ合いです！ ジャズのアドリブ合戦のように、お互いが技を出し合い、投げかけ合うように、良い緊張感でピリッと決まるとかっこいいですね。

佐倉ジュニア合唱団のみなさんとの共演はとても楽しい時間でした！ 戸谷先生、合唱団、スタッフの皆様に感謝申し上げます。

梅本由紀さん 「あしたのボクへ」

メロディーラインもピアノも技術的には比較的平易になるよう作曲しました。収録後も子どもたちが口ずさんでくれていたのが印象的です。

「あしたのボクへ」は近い未来に向けた前向きな題名ですが、複雑な気持ちが入りまじった詞の世界を読み込んで合唱とピアノの音色、音量バランス、ダイナミクスの大きさを変えるなど、さまざまな可能性を試して作品を味わってみてください。ピアノの表現力も大きな役割を担っていますよ。最初のページは左手のリズムを意識するといきいきとした音楽になります。

練習が進んだら、整然と並ぶだけでなく立ち位置を工夫して動きを加えてみると、作品の情景がより表現できるかもしれません。去る5月5日、佐倉ジュニア合唱団の皆さん（指導：戸谷登貴子先生、ピアノ：今野由香先生）がメッセージ性を持たせた演出で初演して下さりとても好評でした。

みなさんのステキな「あした」を楽しみにしています！

小学生のための合唱曲集 MUSIC JAM KIDS シリーズ 1, 2, 3 発売中!



MUSIC JAM KIDS 1

「U&I」 若松 歓 作詞・作曲
 「鳥になって」 瑞慶覧尚子 作詞・作曲
 「夢色マシーン」 うらん 作詞 富沢 裕 作曲
 「Rainbow Sky」 うらん 作詞 赤尾 暁 作曲
 「不思議の ZOO」 武藤 京 作詞 大畑みどり 作曲
 「たべられちゃった!」 若松 歓 作詞・作曲
 「空にむかって」 若松 歓 作詞・作曲
 「ゆけゆけ ロケット!」 若松 歓 作詞・作曲
 「いのち」 小海永二 作詞 西澤健治 作曲 他
 B5 判 全 18 曲 税込み 977 円



範唱とカラオケを
収録した CD も発売中!
税込み 3,086 円



MUSIC JAM KIDS 2

「崖の上のポニョ」 近藤勝也 作詞 宮崎 駿 補作詞
久石 譲 作曲
 「来る来る春が来る」 坂田おさむ 作詞・作曲
 「ヒミツのこみち」 磯野 晃 作詞・作曲
 「飛べよツバメ」 人見敬子 作詞 西澤健治 作曲
 「笑顔でいよう」 池田綾子 作詞・作曲
 「明日を信じて」 小林真人 作詞・作曲
 「花になる日」 井上喜久子 作詞・作曲
 「未来への賛歌」 中田留美 作詞 佐治和太 作曲 他
 B5 判 全 15 曲 税込み 823 円



範唱とカラオケ
([来る来る春が来る] [ヒミツのこみち])
を収録した CD も発売中!
税込み 2,571 円



MUSIC JAM KIDS 3

「レッツ テイク ア チャンス」 西澤健治 作詞・作曲
 「とびらを開いて」 阿武 唯 作詞 菅野夏美 作曲
 「夢みるムーン」 高頭 潔 作詞 赤尾 暁 作曲
 「ラティティ」 あだち ひろたか 作詞 坂元 優 作曲
 「南のマジック アイランド」 高頭 潔 作詞
赤尾 暁 作曲
 「ゆき」 草野心平 作詞 新実徳英 作曲
 「パワー オブ ドリーム」 中田留美 作詞
海原真也 作曲 他
 B5 判 全 12 曲 税込み 864 円



範唱とカラピアノを
収録した CD も発売中!
税込み 2,592 円

お問い合わせ : ☎ **03-3238-6908** FAX **03-3238-6999**
 右の QR コードから web サイト曲集・CD のページへアクセスいただけます。





第16回

まもなく締め切り!!

地球となかよしメッセージ

作品募集(2018年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2018年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会
 ◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
 *協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

教育出版

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
千101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

前回
入選作品



地きゅうをまもっている木

この絵は、人間が作り出したわるい空気を、木がきれいな空気にかえているところをそうぞうしてかきました。大きな木の中に、うちゅうがあり、そして、わたしたちがずむ地きゅうがあります。わるい空気は、水を多くくまらせてかきました。

小学音楽通信 **Spire.m**〔2018年 秋号〕 2018年8月31日 発行

表紙写真: 佐倉ジュニア合唱団、すみだ少年少女合唱団

編集: 教育出版株式会社編集局 発行: 教育出版株式会社 代表者: 伊東千尋
印刷: 大日本印刷株式会社 発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 03-3238-6864 (内容について)
URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp> 03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E室 TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」のっとり、配付を許可されているものです。